

平成26年2月13日(木)

平成26年度募集

横浜観光プロモーション認定事業 募集開始

新しい観光のかたち「**着地型旅行部門**」で横浜再発見!!

横浜に集客力のある事業、横浜の都市ブランド力を高める事業をオール横浜でバックアップします。

「横浜観光プロモーション認定事業」は横浜の集客力を高める事業を公募・認定し、横浜市、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、ならびに同財団賛助会員企業が一体となって事業を支援します。

平成26年度は募集カテゴリーに新たに「**着地型旅行部門**」を創設しました。新部門では、国内誘客における横浜の新たな魅力を開発し、事業として構築することを目指します。

「着地型」観光とは、旅行者を受け入れる地域(着地)側が、その地域独自の観光資源を活かして付加価値の高い体験型・交流型の観光を提供するものです。従来の「発地型」旅行に比べてテーマ性や独自性が強く、その地域ならではの体験ができる点に大きな魅力があります。現地では味わえない食事や体験は貴重な観光資源であり、こうした既存資源の見せ方や体験の仕方に工夫を加えるなど、横浜ならではのコンテンツに新たな楽しみ方を提案する事業を横浜版「**着地型旅行**」として推進します。

平成26年度 横浜観光プロモーション認定事業 募集概要

◆募集カテゴリー

(1) 旅行商品部門

横浜での宿泊を伴う国内外からの旅行商品事業や横浜への日帰り旅行商品事業

(2) 情報発信部門

横浜を題材としたあらゆる情報発信事業(印刷物、ウェブ・スマートフォン・SNS、マスメディアなど)

(3) その他部門

横浜の観光課題(平日の賑わいづくり、閑散期の集客など)の解決につながる取組

複数のエリアや異なる業種間での協同事業等「オール横浜」の視点を持つ取組

(4) **着地型旅行部門**

横浜ならではのコンテンツにより新たな楽しみ方を体験できる事業

着地型旅行事業としてのコンテンツを保有または開発可能であるもの かつ事業を周知できる広報ネットワークや横浜への集客を図る仕組みがあるもの

新設

◆スケジュール

【第1回募集】 平成26年1月30日(木)～2月26日(水) ※着地型旅行部門以外の募集
審査会:3月下旬

【第2回募集】 **平成26年4月1日(火)～4月30日(水)** ※着地型旅行部門のみ募集
審査会:**6月中旬から下旬**

【第3回募集】 平成26年7月1日(火)～7月31日(木) ※着地型旅行部門以外の募集
審査会:9月下旬



裏面あり

【お問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 誘客・広報課 担当課長 相川 浩伸 TEL:045-221-2111

*本日は19:00まで在席しております。

平成26年度 横浜観光プロモーション認定事業 募集概要

◆認定のメリット

- ・(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー賛助会員による事業支援(参加・活用)
 - ・横浜市ならびに(公財)横浜観光コンベンション・ビューローによる広報支援
 - ・事業助成金の交付 募集カテゴリー
- | | | | |
|------------|---|---|---------------------|
| (1)旅行商品部門 | } | → | 助成金額: |
| (2)情報発信部門 | | | 事業費の3分の1以内かつ300万円以下 |
| (3)その他部門 | | | 助成金額: |
| (4)着地型旅行部門 | → | | 事業費の2分の1以内かつ150万円以下 |

◆認定の可否

財団賛助会員の代表者で構成される審査委員会で決定します。

■応募条件など詳細はWEBサイトに掲載されている募集要項をご覧ください。

(<http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/ycvb/promo/index.html>)

※【参考1：認定事業の一例】

◆平成24年度事業 認定事業数：35件

一般社団法人 横浜パークルーズ

横浜はBarの発祥地。観光資源として街のBarを巡りながら夜の横浜を楽しみます。Barを機軸に回遊の仕組みづくりをクーポン商品化し、対象となるBarを取りまとめたマップの制作やウェブサイトでの情報発信などを行います。アフターコンベンションの団体利用や個人旅行商品への組み込みなどにより来訪者の宿泊を促します。Barを切り口とした地域経済の活性化を図る「着地型旅行」事業として認定されました。

バー発祥の地・横浜で、バーを巡りながら夜の横浜を楽しむ事業です。



◆平成25年度事業 認定事業数：20件

横浜“愛”の1DAYきっぷ キャンペーン

京浜急行電鉄発行の企画乗車券「横浜1DAYきっぷ」を、期間限定の優待特典付き「横浜“愛”の1DAYきっぷ」としてバージョンアップしたキャンペーン企画です。みなとみらい・山手エリアの人気8施設と提携し、横浜への誘客と来訪者の周遊性を高めます。キャンペーンリーフレットに“冬(クリスマス)から春”の横浜ならではのイベントを紹介し、期間中のリピーター獲得を目指します。

事業実施期間：平成26年3月31日まで

京浜急行電鉄



※【参考2：他都市の着地型観光事例】

◆長崎さるく <http://www.saruku.info/index.php>

まち歩き観光「長崎さるく」では、「遊さるく」、「通さるく」、「学さるく」、「食さるく」などをご用意して観光客を迎えています。いわゆるポピュラーな長崎の観光地といえば、グラバー園や眼鏡橋、大浦天主堂や平和公園など、を思い浮かべますが、観光客を受け入れる地域が主体となって、眠っている本当の魅力を地域(着地)側が情報発信し、多彩な観光メニューで地域のおもてなしや手づくり感のある魅力ある企画満載の着地型観光事業です。

◆おんぱく <http://japan.onpaku.jp/>

地域の人と場所の魅力を体験するイベント。2001年に別府八湯温泉博覧会(略称:オンパク)として別府温泉にて開催されました。オンパクは、経済産業省や日本財団などの支援を受けて、地域活性化の取り組みとして多くの地域で行われるようになり、その仲間によって平成22年4月に一般社団法人ジャパン・オンパクが設立されました。現在では温泉地以外の地域も参加、全国19箇所で開催されています。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 誘客・広報課 担当課長 相川 浩伸 TEL:045-221-2111
*本日は19:00まで在席しております。